

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 鳥取県琴浦町

本事業の担当部局名 子育て応援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
個別事業名	琴浦町産前産後・子育て支援事業					新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	新規
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)	255,770		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	255,770
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	255,770						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	103,770	0	20,000	0
	対象経費支出予定額	0	0	103,770	0	20,000	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	132,000	0	0	255,770
	対象経費支出予定額	0	0	132,000	0	0	255,770
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通</p> <p>人口減少を緩やかにし、これからも持続可能なまちとしていくためには、20代・30代を中心とした若年層の転出抑制と、子育て世帯の転入をはじめとするU・Iターン者の増加が必要である。町民が安心して暮らし続けられるまちとして移住定住の選択先の一つとなるためには、生活の基盤となる「住まい」と「しごと」の環境整備はもとより、「地域づくり」、「子育て」、「教育」、「健康」、「福祉」、「防災・防犯」、「環境」といった各分野に複合的に取り組んでいく必要がある。</p> <p><本個別事業の位置付け></p> <p>琴浦町まちづくりビジョンで定めた若者の定住・U・Iターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整備の重点項目達成のため、政策の1つ「新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり」の具体的施策「子どもを産み育てやすい環境づくり」として、妊娠期から産褥期、そして子育て期にわたって切れ目ない支援を行い、産前産後の育児不安の解消や子育て期の育児負担感の軽減を図り、子と保護者が心身共に健康な生活が送れるための支援を行う。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	プレママ・プレパパ交流会(妊娠期からの地域交流拠点整備事業)	<p>妊産婦や子育て世代が一緒に楽しさや悩みを共有しながら子育てできる地域づくりを目指し、妊産婦や子育て世代が気軽に集える交流会を開催することで、育児全般の不安解消を図るとともに、保護者同士の交流・情報交換をきっかけとした仲間づくりの機会とし、保護者が前向きに育児を行うことができるよう支援を行う。</p> <p>・内容:妊婦とその家族を対象とした交流会 助産師の講話、お世話体験と妊婦同士の交流、個別相談、情報提供など 【対象】妊婦とその家族 【実施回数】3回(6月、10月、2月予定)</p>				
2	ペアレント・トレーニング教室	<p>保護者が子どもとの関わり方を学べる子育て練習講座(ペアレント・トレーニング)を開催することで、育児全般の不安解消を図るとともに、保護者同士の交流・情報交換をきっかけとした仲間づくりの機会とし、保護者が前向きに育児を行うことができるよう支援を行う。</p> <p>・内容:日常で起こりがちな親子のやりとりの場面を、参加者同士が良い対応方法を用いてロールプレイで繰り返し実践し、家庭での実践頻度を高める。 (集団教室、10名程度) 【対象】就学前の子どもを持つ保護者・小学生の保護者 【実施回数】6回</p>					

(参考) 積算内訳書

1. 自治体名	鳥取県琴浦町	
2. 個票番号・個別事業名	①	琴浦町産前産後・子育て支援事業

3. 本個別事業の寄付金その他の収入及びその内訳

No	収入区分	収入区分毎の内訳	寄付金その他の収入予定額 (円)
1			
2			
3			
4			
5			
		計	0

4. 本個別事業に要する費用及びその内訳

No	経費区分	経費区分毎の内訳	総事業費 (円)	対象経費支出予定額	
				対象経費支出予定額	対象外経費支出予定額
1		【事業番号①】 プレママ・プレパパ交流会			
2	報償費	講師報償費12,000円×3回=36,000円 託児スタッフ報償費1,255円×3時間×2人×3回=22,590円	58,590	58,590	
3	需用費	消耗品費	10,000	10,000	
4	備品購入費	新生児沐浴人形購入費 ※購入備品情報 ・沐浴人形「柔」シリーズB形 132,000円×1体 ・メーカー：株式会社 京都科学 ・型番：M59 男の子人形 ※備品購入しなければならない理由 同商品はリース・レンタルを行っている事業者が県内にないため、購入が必要である。	132,000	132,000	
5		【事業番号②】 ベアレント・トレーニング教室			
6	報償費	託児スタッフ報償費1,255円×2時間×3人×6回=45,180円	45,180	45,180	
7	需用費	消耗品費	10,000	10,000	
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
		計	255,770	255,770	0

(経費区分ごとの合計)

区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
総事業費	0	0	103,770	0	20,000	0
対象経費支出予定額	0	0	103,770	0	20,000	0
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
総事業費	0	0	132,000	0	0	255,770
対象経費支出予定額	0	0	132,000	0	0	255,770
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0

(参考) 結婚支援センター及び結婚支援事業者の登録優待費用の内訳

(単位：円、人)

番号	登録優待方法	1人当たり登録優待額(A)	登録優待予定人数(B)	諸経費(C)	合計(A×B+C)
1					
2					
3					
					0

※1人当たり登録優待額を複数設定する場合は、それぞれについて記入すること。